

- A 学校で屋外で児童に実習させている。
 B 屋外実習はあまりやらない。
 C 絵や黒板での説明が多い。
 D この教材は児童は理解しやすい。
 E 理解しにくい。
- 8 2年の「太陽の通り道」について
 A 東から出ることは児童に朝の観察をさせている。
 B そんなことはあまりしない。
 C 南を通して西へ入ることは学校で屋外観察をさせている。
 D A や C はあまりせず、絵や黒板の方が理解しやすい。
 E この教材は児童は理解しやすい。
 F 理解しにくい。
- 9 2年「太陽の色、輝きは変るが、いつもまるくみえる」について
 A この部分は特に児童は興味をもつ。
 B あまり興味をもたない。
 C この教材は児童は理解しやすい。
 D 理解しにくい。
- 10 3年「月の通り道」について
 A 月も東から出て西へ入ることは児童はよく理解する。
 B 東から出る月は西へ入るのが見えないから理解しにくい。
 C ひるの月でもゆっくり見ているひまはないから理解しにくい。
 D 月の通り道が太陽と似ていることは児童は理解しやすい。
 E 観察は家で行うから統一した理解がない。
- 11 3年「同じ時刻でも月の位置や形が変ることをみてきまりがあることをしる」について
 A 月が西から東へ動くように児童が考えやすい。
 B そんなことはない。きまりはよくわかる。
 C この教材は児童は理解しやすい。
 D 観察は家でおこなうから統一した理解がない。
- 12 4,5,6年「恒星の教材」について
 A 夜空をみなくても児童は日周運動をよく理解する。
 B 夜空をみないので理解しにくい。
 C 児童は星座に興味をもちよく理解する。
 D 星の明るさや色のちがいを手掛りとすると、星座を理解する生徒はふえた。
 E どうしても星座は児童には理解しにくい。
 F 星の日周運動から地球の自転へ結びつく児童は多い。
 G 自転は知っていても、あまり結びつかない。

13 [3] のはじめにかかげた小学校天文教材の表について小学生には不要だとおもうものはどれか。

- A 1年①, B 2年①, C 2年②, D 3年①
 E 3年②, F 4年①, G 4年②, H 4年③
 I 5年①, J 5年②, K 6年①, L 6年②

学会だより

東京天文台の一般公開

東京天文台の一般公開(国会後援)が10月30日(土)に行われる予定です。台内諸施設の公開は午後2時から午後4時30分まで、月面観望は午後7時30分まで行われます。天候の都合により観望終了時刻を繰り上げることがあります。なお、雨天の際には中止され、また当日参観を目的の自動車の構内乗入れは禁止されます。

幼児は保護者の同伴をお願いします。

国際機関の専門家の募集について

外務省国連局の国際人事センターより国連等の国際機関の事務局・フィールド専門家の空席公告(契約は約2年)が学会宛に来ています。気象関係・コンピューター関係等の専門家の募集も2~3あるようです。多くは10年以上の専門的経験があって35才以上の人を対象とし、応募の締切も9月中がほとんどのようですが、詳しい情報を入手されたい方は

国際機関人事センター

〒100 千代田区霞ヶ関 2-21-1

電話 03-580-3311 (内線 2840)

にご照会下さい。

雑報

本邦最古の隕石を確認

昨年6月名古屋市南区星崎町の星崎塩浜資料保存会の荒川泰市・伊藤鈔倍両氏からの通報により同町の喚続神社に寛永9年8月14日(1632年9月27日)に落下の隕石が社宝として保存されていることを知り、調査を願い出ていたところ最近に承諾が得られ8月15日名古屋科学館の平沢康男氏と共に訪問調査し、重量1.04kgの球粒隕石であることを確認した。従来最古とされていた静岡県の笹ヶ瀬隕石(元禄元年落下)より56年古いことになる。これで我が国で確認された隕石落下の総数は32個となった。なお落下地点は現在の南区南野3丁目にあたり落下当時も南野村といったので南野隕石と命名することとした。(村山定男)